

みんなのページ

身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は(〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課秘書広報係)です。

日向ぼこ大好き

真嶋 つぎえ (七十歳・中町)

「予後の身とコスモス風に逆らわず、寒くなると日の当たる場所が恋しくなるのは、何も年寄りや病人ばかりではありません。公園の南側に若者や子どもたちが集まり、いわゆる日光浴を楽しんでる姿を見かけます。」

日向ぼこには幼い日の思い出、多感なる青春の淡く、ほろ苦い思い出がひそんでいます。また、あらぬ想像に走れます。そんな日向ぼこが大好きです。「妻の座も母の座も過ぎ日向ぼこ」「妻の座も母の座も過ぎ」と詠むわたし。主人を亡くし、子どもたちは成人しました。一人の時間を持て余し、ぼつんと寂しく日向ぼこしている様子に見受けられるでしょうか。大変忙しく活躍している若者から見

ると、年寄りの日向ぼこは、いささかの不安を抱かざるを得ないのでしょう。「耳たぶをくすぐられをり秋の風」日向ぼこをしているときは、自然の流れを観察できる一番好きな時間です。自然は思いがけない姿を見せるもの。そんな自然を観察しながら、わたしたちは生涯学習の一つとして、俳句を続けたいと思います。今の恵まれた環境を大事にして、生き方を考えて暮らしたいと思えます。

ぼくのゆめ

村木 健太 (十歳・平成町)

ぼくのゆめは、サッカー選手になることです。今、白根ジャガーズでがんばっています。去年の六月三日、ビッグスワンで、ワールドカップのクロアチア対メキシコの試合の前に、トレーニングセンターのメンバーと、カーテナーレザーマッチの試合をしました。ビッグスワンの広いしぼの上でサッカーができて、うれしかったです。いろいろな上手になりたいです。



ジュニアサマースクールの思い出

栗田 尚登 (十歳・下茨)

ぼくは夏休みに、ジュニアサマースクールに通っていました。前回参加したとき、とても楽しかったので、今回は友だちをさそって、いっしょに申し込みました。今回のジュニアサマースクールでは、スポーツテストやゲートボールをしたり、三川村でカヌーに乗せてもらったりしました。そのほかにも、たこづくりにやバーベキューもありました。カヌーにのったときは、こいでもこいでもまっすぐに進まなくて苦せんしたけど、とても楽しかったです。

はじめてのしゅい

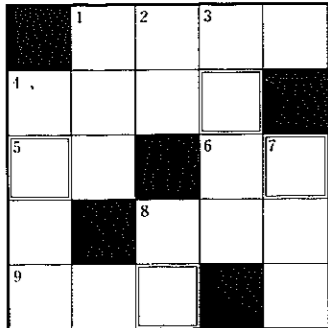
北山 滉 (九歳・新生町)

きよねんの八月三日と四日、白根市少年やきゅう大会がありました。ぼくは、三日はとく点係をして、四日はポールのボーイをしました。三日はぼくたち白井チームが、かちました。とてもうれしかったです。四日はまけてしまったので、くやしかったです。ぼくたちのチームは、三位になりました。トロフィーと、しょうじょうをもらいました。とても楽しい二日間でした。

広報クイズ

図書券が当たる!

はがきに答え(完成図は不要です)、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見(市から回答が必要な場合は、その旨)を書いて、2月18日(火)必着で白根市企画財政課秘書広報係(〒950-1292 白根市大字白根1235)へお送りください。※EメールでもOK。正解者の中から抽選で3人に500円の図書券、5人に粗品を差し上げます。正解者の発表は3月1日号で行います。1月合併号の正解はカドマツ。正解者は37人でした。▼図書券 荏原マキ子(古川宮前町)、田村礼子(浦梨)、清水めぐみ(七軒町) ▼粗品 小林亮太(魚町1)、大野太作(上中村)、富田佳伸(古町)、星野智美(下木山)、広野双葉(横垣) ※敬称略



◆ヨコのカギ

- ①〇〇〇〇の大仏様
④イラク共和国大統領
⑤太陽〇〇、こよみ
⑥影
⑧アルプス、首都ベルン、国名は
⑨百足

◆タテのカギ

- ①〇〇〇燃料、石油
②m y
③教えさとし、戒めること
④がくぶち、枠、めがねの〇〇〇〇
⑦ ⇄レギュラー
⑧〇〇で戦う

□の字を並べてください。私をスキーに連れてって



策定委員会で、白根市が目指すまちの姿について検討中

市民の誰もが、生涯にわたって心豊かに健康に過ごせるような地域づくりが求められています。そこで、国が提唱している「健康日本21」を受け、市でも「市民検討委員(関係団体代表や公募市民十七人で構成)」を含む策定委員会で、現在計画を策定中です。策定委員会では、市民の声を反映し、市の状況に応じた「市民にわかりやすい」(取り組みが楽しい)計画づくりを目指しています。計画策定に当たって、まず市民の健康な姿、目指す姿について話し合いました。健康な姿を実現させるためには、従来の狭い意味での健康づくりでは限界があります。これは、幅広くさまざまな

白根市健康づくり推進計画「健康しろね21(仮称)」市民主体で策定中

広がれ 健康家族

保健福祉課 239

まな分野を巻き込んでいかなければ、解決できない課題であると考えました。最近では各部門に分かれ、課題を整理し、昨年十二月二十日の「健康づくり推進協議会」では中間報告を行いました。今後は、皆さんから協力いただいたアンケート結果を基に、実行可能な対策を検討する予定です。※健康日本21「すべての国民が健康で明るく元気に生活できる社会」の実現を図る。壮年死亡、働き盛りの年代での死亡を減少させ、知ほつや寝たきりにならない状態で生活できる期間(健康寿命)を延ばすことなどが目標。個人の力と社会の力を合わせ、国民の健康づくりを総合的に推進する。

健康しろね21が目指すまちの姿

- 1. 子どもが屋外で元気に遊ぶ声が聞こえるまち
2. 働き盛りの人が、いきいきと健康づくりを実践しているまち
3. お互いを尊重し、認め合い、仲良く暮らせるまち
4. 地域の交流があり、楽しく暮らせるまち
5. 地域で子どもや高齢者、障害のある人たちを支え合うまち

市民文芸

俳句 枯葉に継る重さの烏瓜 安澤 飛浪
茫々と鴻千拓の大冬田 公條 雪夫
雪国に生れし誇り失はず 和泉 伸子
車出すだけの雪掻きとて大儀 五十嵐寛吾
田の神へ豊年神楽奉る 池原 北魚
病む故に詩けず沢庵大根買ふ 小林 すみ
大方は咲く花小きき掃り花 堀内ナナ子
洪滞の真正面の冬夕焼 五十嵐理恵
山並みも里も雪雲包みけり 細貝 漢子
寒禽の鋭き声の朝かな 小林 光子
木漏れ日に光る碑散銀杏 関根まさき
雪積むで鶏もをらぬ大捨て田 本間しげ子
枯れ枯れて虚空さまよふ冬芒 相田 照子
宍道湖の現をとり来いと云ふ 勝山 絢子
昔話かたりたくなる雪地蔵 松下 聡
供えたる葡萄の香り厨まで 小林 なお
七日粥足りぬ二品を笑みで足す 小林富沙子
芽吹かんとみんな陽の方へ陽の方へ 登石 詩子
ちぎり絵の羊の目大き賀状かな 小林里代子
豆稲架の乾びし音のほたりかな 田中美根子
着ぶくれてプラスマイナスゼ 口志向 丸山 虚秋
青空とコントラストの梅の花 知野信一郎
寒月や死ぬ時の顔考へる 真嶋つぎえ

短歌 友待ちて野良はふるえて夜明け前 渡辺 勤
鈴生りの身を残してや銀杏の葉 坂上 敏郎
早や根雪取りそこねたる瘦せ大根 川村まさし
短歌 風が吹く舗道の上からからと走る落葉を犬が見送る 大藤 イツ
使わざる机にまだ残りいる遊きたる猫の手の跡を拭く 関 悦子
わが裡に仕舞いおきたし雲ひとつあらぬ真青き霜月の空 村山 和江
北風にはさ木の小枝びゆびゆと響く音いろは冬のうた声 河内 公夫
背にかける防寒着すら外に出れば身の荷となれるときのありけり 星 ハツノ
鎮守様元旦の朝の初日の出東の山々赤く染りて 品田 三郎

川柳 訥訥と励ます友のあたたかさ 西条 ムラ
豆撒きに北風の鬼尻捲くる 中村 尚治
神様も不況の風に逃を投げ 山岡 フミ
美人だと言われて無駄な努力する 吉川 彰
腕時計の電池が切れた虚脱感 今井 七郎
去ってゆく足に乱れのない憎さ 織田 セツ
また新党常連の名の渡り鳥 大谷 龍吉
幸福は苦勞に耐えて味も出る 河内 勝哉
世の汚れ一夜で隠す銀世界 田中 弘子
一服の朝茶に脳が冴えてくる 田村 恒夫
もうすぐ春ですと言う万歩計 今井八重子